

学校名	草加市立川柳小学校
所在地	埼玉県草加市青柳7-27-10
電話	048-931-5025

1 本校の概要

明治6年1月開校

児童数 545 名 23 学級（特別支援学級5クラス含む）

学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」

2 本校の実践

(1) 朝読書の充実

本校では、朝読書を週に1回木曜日に行い、読書活動の充実を図っている。

(2) 読み聞かせボランティアとの連携

月1回、朝読書の時間に「クレヨンの会」の方が読み聞かせをしてくれている。子どもたちが本に興味をもてるよう読み聞かせの勉強会をするなど、工夫を凝らした活動を行ってくれている。

また、年に1回、低学年・特別支援学級を対象に通常15分間の読み聞かせのところ、30分間の読み聞かせをしてくれている。

(3) 学校司書の活動及び様々な連携

ア 掲示物の工夫

季節に合った掲示を作成し、それにあった本を手に取りやすいカウンターに置くなど工夫をした。

イ 子どもたちが好むしおりを作成

本のキャラクターをいれた返却日がわかるしおりを作成して配付している。（1年生は日付入り）

ウ 貸し出し数の把握と分析

どのクラスがどのくらい借りているかなど調べて掲示物作成の手立てとして調査している。

エ 配架の工夫

各教科に必要な本の配架補助授業に必要な本を用意し、配架している。各学年分に配架用カードがある。

(4) 1年生に向けて図書館の利用の仕方の指導

6月ごろに1年生に向けて、「図書館へようこそ」の紙芝居を読み、本の扱い方や本の借り方を楽しく司書教諭が指導している。

(5) 図書委員会の活動

ア 貸出・返却処理、本の整理などの仕事の分担

イ ブックカフェの設置

各学年のフロアに本を読めるスペースを確保。そこに、図書委員のおすすめの本の紹介とその本を掲示した。

ウ 読書月間での読書ビンゴ・しおりの作成

いろいろなジャンルの本に挑戦できるようにジャンルを書いたビンゴカードを作成し、ビンゴを達成したら手作りのしおりのプレゼントをした。

エ 本の貸し出し数ベスト10・人気の本ベスト10の作成

オ 低学年に向けた読み聞かせ (朝読書の時間)



(6) 11月読書月間の取り組み

ア 3年から5年を対象にしたブックトーク

学年に応じたテーマに沿って毎年、中央図書館の五十嵐静江様によるブックトークを行っている。



イ 図書委員会による読書ビンゴ

ビンゴのレベルを3まで作成し、本を借りた児童には、ビンゴカードにスタンプを押し1枚終わるごとにしおりをプレゼント。レベル3を終了した児童は図書委員の体験しおりのプレゼントか選べるようにした。



ウ 先生のおすすめの本の作成

先生がおすすめする本の紹介を書いてもらい、ブックカフェや西門掲示板（11月）に掲示した。



(7) 中央図書館との連携

ア 川柳小図書館を市民へ開放（日曜日・地域開放型図書室）

イ 2週間おきにある中央図書館サービスコーナーの利用
クラス単位で借りたり、個人で利用カードを持っていれば個人で借りたりできる。

ウ 団体貸出しの利用

3 成果と今後の課題

図書貸出数 実績 (令和5年度のみ10月現在)		
年度 (4~12月)	冊数	児童1人平均
令和3年度	17882 冊	31.8 冊
令和4年度	20913 冊	37.4 冊
令和5年度	10952 冊	20.1 冊

(1) 成果：令和4年度の貸し出し数がアップした。

(2) 課題：本年度は、貸し出し数が減っているのので、さらに工夫をして貸し出し数を伸ばしていきたい。